

令和5年度 シニア支え合いサポーター交流会 実施報告

1 実施概要

(1) 目的

- ・新型コロナウイルス感染症でボランティア活動から離れたサポーターに、現在の受入れ状況や活動等の情報を提供する。
- ・シニア支え合いサポーターが、新たな活動をはじめるきっかけの場とする（活動していない人が活動をはじめる、別の活動場所を見つける）。
- ・シニア支え合いサポーター同士や施設担当者とお交流し、他のボランティアの活動状況を知り、今後の活動に活かす。

(2) 日時 令和6年3月8日（金） 10時00分～12時00分（自由入場・自由退室）

(3) 場所 武蔵野プレイス4階フォーラム

(4) 内容

- ・18か所の協力施設・団体の紹介（パネル展示）
掲示施設は別紙のとおり
- ・サポーター同士の交流や情報交換
- ・令和5年度分ポイント交換申請および手帳の更新
- ・登録希望者の説明会を実施（10時～） ※新規

(5) 対象者 シニア支え合いサポーター（既存登録者のみ）及び年齢要件の関わらず制度に興味のある市民

(6) 申込 不要

(7) その他 参加者には令和6年度分のポイントを2ポイント付与する。

2 実施結果

(1) 参加者 23名（前年は9名）

内訳 説明会 参加者 7名（うち6名がサポーターに新規登録）
交流会 参加者 16名

(2) 参加理由

- ・自分が行っている活動以外にどのようなボランティア活動があるか知りたかった。
- ・未登録であったが、既にボランティア活動をしていたところボランティア先の施設の担当者より案内があり、サポーター登録をするために参加した。
- ・退職を期に何か出来ないかと思い参加した。

(3) 参加者からの感想

- ・施設の方や他のサポーターと交流ができ気持ちが前向きになった。
- ・ボランティア活動をしている中で、サポーターだけでなく、入所されている方がお会いする中でいきいきとされているのが印象的である。施設に入所者はどうしても限られた空間、人間関係のなかで生活することになり、気持ちが内向きになってきてしまうが、サポーターをはじめ地域の人間と関わることにより、施設の外の世界とも関わりを持てる。年齢を重ねるとにサポーターとしてできることも限られてくると思うが、互いに足りないことを“支え合い

のころ”で補うことが大事だと思う。

- ・独居で誰ともかかわらない生活は気が楽でよいが、誰かと話す機会がなければ喋る筋肉が衰えて話し方を忘れそうなのでボランティアで積極的に 他者とかわりを持とうと思っている。
- ・コロナ禍で止まっていた活動が再開し、利用者の方も変わらず来所していて再会を喜んだ。活動者同士も久しぶりに会えて嬉しかった。亡きご主人がお世話になった施設にお返しの気持ちで活動している。
- ・コロナ禍で活動をしていなかったが、そろそろ始めてもよいかと考えて更新にきた。
- ・20年続けている活動を施設の方から推薦され、表彰されることになった。友人にもシニアポイントを勧めて今日の説明会に参加してもらった。

(4) 交流会風景

会場全体の様子



パネル展示及び交流会の様子



パネル展示及び交流会の様子



説明会の様子



パネル例

